



青葉区青少年指導員



青葉区青少年指導員（青指）の広報誌です。

令和3年度 表彰者の御紹介（敬称略、順不同）

青少年指導員活動における活躍が顕著な方々に対し表彰がありました。おめでとうございます。

●神奈川県青少年指導員表彰（2名）

水越 篤（市ケ尾地区）
松崎 博（荏田地区）

●神奈川県青少年育成活動推進者表彰（2名）

平松美智子（青葉台地区）
山岸 和治（青葉台地区）

●横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰（17名）

20年以上 (6名)	水越 篤（市ケ尾地区） 平松美智子（青葉台地区） 山岸 和治（青葉台地区）	渥美 豊（青葉台地区） 森下 哲男（山内地区） 松崎 博（荏田地区）
15年 (1名)	山本さと子（荏田地区）	
10年 (10名)	西村洋二郎（中里地区） 八野 治之（中里地区） 川上 浩一（中里北部地区） 竹内 一也（上谷本地区） 加藤 誠（上谷本地区）	塗木栄一郎（青葉台地区） 二宮 幸雄（奈良地区） 扇原 剛（山内地区） 辻井みどり（山内地区） 児島 洋一（新荏田地区）

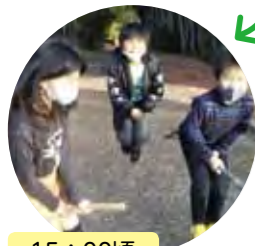
小学生の放課後の居場所をご紹介します

子どもたちは、放課後をクラブで楽しく過ごしています♪

* 小学校で過ごす 「放課後キッズクラブ」
* 地域で過ごす 「放課後児童クラブ」

色々な学年の子が交流し、放課後も子どもたちは大きく成長しています。何より子どもたちの笑顔が地域の、みんなの、パワーになっています！

14：30頃 下校後、学校からクラブへ移動



15：00頃 遊びの時間

室内でも外でも思いっきり体を動かします。一輪車やおままごと遊びをしたり、勉強を教え合ったり…季節の小物づくりやお誕生日会など、各クラブ独自のプログラムを実施することもあります。



16：00頃～ おやつ時間

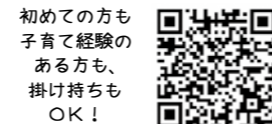
手作りおやつが



18：45頃 お迎え

帰りが遅くなったときは、保護者がお迎えに来て笑顔で帰ります。

子ども好きのあなた！
スタッフ募集中!!!



初めての方も子育て経験のある方も、掛け持ちもOK!
《募集クラブ一覧》
検索 青葉区 放課後児童育成

問い合わせ先
青葉区子ども家庭支援課
学校連携・子ども担当
TEL：045(978)2345

表紙のクイズの答

横浜市子ども虐待防止キャラクターの「キャッピー」です。Child Abuse Prevention in Yokohama（よこはま子ども虐待防止）の頭文字をとって名付けられました。キャッピーは子育てを応援しています。



青少年を育てる地域の担い手「青少年指導員」

私たち青少年指導員は、知恵を出し合い、工夫しながら、子どもたちの笑顔が見られる地域行事を企画し、青少年の健全育成を図ることを目的に活動しています。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により各地区でのイベント中止が相次ぎましたが、昨年より感染症対策を講じたうえで、少しずつイベントが開催されています。

青少年指導員について教えて？

Q どうやって選ばれるの？

A 地域の自治会・町内会からの推薦に基づいて、県知事及び市長が委嘱します。

Q 区内に何人くらいいるの？

A 166人（うち新任30人）が活動しています。

Q どんな活動をしているの？

A 地域での活動のほか、青葉区全域での活動として、青葉区民まつりでのステージイベントの企画・運営、青葉区民マラソン大会での警備・案内などを行っています。

先輩からのメッセージ



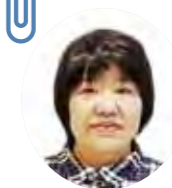
7年目
青葉台地区
北谷 佐和子 さん

青葉台地区では毎年、「星を観る会」「電車工場見学」「ウォーキング餅つき」を開催しています。小学生の息子もお手伝いとして参加させてもらい、すっかり気分はチビッ子ボランティア？！親子で楽しみながら活動できました♪



16年目
市ケ尾地区
後村 智 さん

市ケ尾地区では、紙飛行機大会や運動会の協賛など11名で活動しており、コロナで自粛していた活動再開に向け、イベントを企画、メンバーも力が入っています。子どもたちの笑顔の為に尽力できる仲間を見つける場でもあります。



22年目
新荏田地区
吉野 一代 さん

青少年指導員として地域のイベントに参加して自治会の人たちと子どもたちにふれあい、一緒に楽しんでつながりをもつことで喜びを感じています。多くの人たちと楽しく活動ができるのが1番です。

青指あおば 第47号クイズ

右のキャラクターは、何のキャラクターでしょうか？



広報部員紹介

加藤 誠 / 鈴木 秀幸 / 松本 勝美 / 島津 直也 / 横山 真也 / 金平 昌幸 / 松本 洋一 / 岡田 静乃 / 扇原 剛 / 磯部 明宏 / 花野 年秀 / 古石 吉秀 / 石村 知子

ウォークラリー ~Jike 夢と魔法の国~

今回、青少年指導員として、初めてウォークラリー大会に、テーマ『親子ともたちとのコミュニケーション』を意識して参加しました。

各ポイントのゲーム、クイズでは、真剣な表情、仲間との相談で課題をクリアしていく姿には驚きました。困っている子どもへの親の優しい問いかけも、見ていると笑顔になります。



水の魔法使いからクイズ出題中

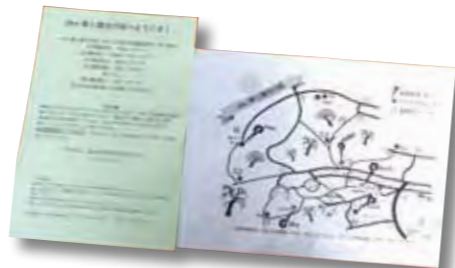


闇の魔法使い：暗い世界を体験

子どもたちのこのような姿が見れ、すごく良かったと感じ、運営している方々への感謝を感じました。大変素晴らしい一日になったと思います。今後も行事を通じ、子どもたちの成長が感じられると素晴らしいと思いました。



石の魔法使い：石積み挑戦中



* 寺家ふるさとの森にいる5人の魔法使いから出されるクイズやゲームに挑戦し、最後はみんなで答え合わせをしました。

スケート開放 ~冬の親と子の集い~



こどもの国協会のご協力をいただき、入場、人数制限を設け「園内とスケート場入場の無料開放」を2年ぶりに開催しました。

青少年指導員では地域の子どもたちに「こどもの国」で友だちや家族との楽しいひと時を過ごしていただきたいとの想いを込めて、イベントを開催しています。

スケートが待ちきれずに入り口まで走ってくる子や友だちと仲良くおしゃべりしながらくる子など、イベントをとっても楽しみにしてくれていたことが伝わってきました。

場内では手すりにつかまりながら練習している家族やリンク内を上手に滑っている子どもたちなどを見て寒い日でしたが、心温まる催しになりました。



★今年度開催することができた地域イベントをご紹介します！

モルック体験会 ~柿の木台第一公園~

最近テレビなどでも放送され人気が出てきている「モルック」、フィンランドの伝統的なゲームを元に開発されたスポーツです。今回はスポーツ推進委員と共に子どもたちも参加して体験会を行いました。今年はコロナが落ち着けば大会も行っていく予定です。



初めて見る子どもたちも興味津々。まずはルール説明。



小学校2年生の男の子は、とても楽しかったようで、お父さんに家で買って欲しいという声もあったそうです。



投げる技術に、ゲームとしての戦略もチームで考えて行きます。大人もすっかりはまってしまいました。

書初め大会 ~今年の夢を筆に託して~

谷本地区恒例の書初め大会。去年は中止となってしまいましたが、今年は、1月8日(土)、谷本小学校体育館で開催しました。餅つきやお汁粉ができず、検温や消毒、連絡先記載が必須、参加者も例年の半分ちょっとという異例な開催ではありましたが、それでも53人の元気な小学生が筆を揮いました。



気合の入った清書を提出した後は、雪の残る校庭で昔遊び。

その間に、地域の自治会長さんたちが子どもたちの力作を審査します。学年ごとの金賞受賞者には楯、受賞者全員に賞状と賞品が授与され、拍手でお互いのがんばりを称えあいました。

来年は餅つきもできますように！

